

## 貸借対照表

( 2023 年 12 月 31 日 現在)

株式会社ダイテク

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産	784,293	I 流動負債	432,011
現金及び預金	402,626	買掛金	71,228
売掛金	280,964	工事未払金	216,985
完成工事未収入金	21,283	未払金	38,715
契約資産	68,325	未払費用	3,267
商品	3,892	未払法人税等	40,290
前払費用	1,522	未払消費税等	20,671
前渡金	4,882	契約負債	7,177
未収入金	788	預り金	10,837
立替金	4	役員賞与引当金	5,330
仮払金	1	賞与引当金	17,507
II 固定資産	152,376	II 固定負債	△ 1,829
1.有形固定資産	7,608	繰延税金負債	△ 1,829
建物	1,406	負債合計	430,182
構築物	632	I 株主資本	499,318
工具器具及び備品	1,029	1.資本金	10,000
土地	4,540	2.利益剰余金	489,318
2.無形固定資産	1,153	利益準備金	2,500
電話加入権	1,153	その他利益剰余金	486,818
3.投資その他の資産	143,614	繰越利益剰余金	486,818
投資有価証券	107,546	II 評価・換算差額等	7,169
繰延税金資産	12,704	その他有価証券評価差額金	7,169
出資金	310		
敷金	117		
長期差入保証金	399		
保険積立金	22,536		
		純資産合計	506,487
資産合計	936,670	負債・純資産合計	936,670

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

### 重要な会計方針

#### 1. 資産の評価基準および評価方法

##### (1) 有価証券の評価基準および評価方法

###### その他有価証券

時価のあるもの : 決算日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの : 移動平均法による原価法

##### (2) 棚卸資産の評価基準および評価方法

未成工事支出金 : 個別法による原価法

商品 : 総平均法による原価法

#### 2. 固定資産の減価償却方法

有形固定資産 : 定率法

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（附属設備は除く）、2016年4月1日以降に取得した建物付属設備および構築物は定額法

#### 3. 引当金の計上基準

##### 役員賞与引当金

役員賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に負担すべき額を計上しております。

##### 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に負担すべき額を計上しております。

#### 4. 収益及び費用の計上基準

##### 工事契約

各種水処理設備の施工を行っております。主として原価回収基準を適用しております。

また、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い工事契約については代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

取引の対価は、主として、履行義務の充足とは別に契約期間中に段階的に受領するとともに、残額については履行義務を全て充足したのち概ね1年以内に受領しており、重大な金融要素は含んでおりません。

##### メンテナンス契約

浄化槽や水処理システムの保守点検及び建物管理業務を行っております。これらのメンテナンス

契約については、履行義務が時の経過にわたり充足されるため、契約期間に応じて均等按分し、収益を認識しております。

取引の対価は、主として、受注時から履行義務を充足するまでの期間における前受金の受領、又は履行義務充足後の支払を要求しております。

履行義務充足後の支払は、履行義務の充足時点から概ね1年以内に受領しており、重大な金融要素は含んでおりません。

#### 当期純損益

1. 当期純利益は 135,333 千円であります。
2. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。